

**2019J2** ■順位表 ■暫定：第26節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	柏	52p	+19	36	17	A●
2	京都	50p	+17	41	24	H△ A●
3	大宮	46p	+15	37	22	A● H△
4	横浜FC	44p	+13	42	29	A●
5	水戸	44p	+12	31	19	H●
6	山形	43p	+9	30	21	HO
7	甲府	40p	+12	39	27	A●
8	岡山	40p	-3	31	34	HO
9	新潟	37p	+11	44	33	H●
10	金沢	37p	+11	31	20	H●
11	徳島	37p	+1	33	32	A●
12	長崎	37p	0	35	35	H● AO
13	東京V	36p	-3	33	36	H●
14	山口	30p	-2	39	24	A●
15	千葉	30p	-7	31	38	A● H△
16	愛媛	29p	-5	26	31	A●
17	琉球	28p	-12	34	46	HO
18	町田	26p	-19	23	42	H●
19	福岡	24p	-17	25	42	AO
*20	鹿児島	23p	-16	25	41	H△
21	栃木	22p	-15	20	35	A△
*22	岐阜	20p	-20	24	44	---

注)\*は消化試合が1足りない

**次回HomeGame**

第29節 vs. 柏レイソル

8/25 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201



本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休：月曜日

today's guest : **アビスパ福岡**

2018 J2 19勝13分10敗 勝ち点70：7位

直近の対決と結果

2019/07/06

J2 - 21節@レベスタ

**福岡 1-3 岐阜**

川西翔太x2, 前田遼一 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	アビスパ福岡
2019/08/04 J2 - 26節@トラスター長崎 1-3 岐阜	2019/08/04 J2 - 26節@レベスタ福岡 0-2 横浜FC
2019/07/31 J2 - 25節@長良川岐阜 0-0 大宮	2019/07/31 J2 - 25節@NDスタ山形 1-2 福岡
2019/07/27 J2 - 24節@西京極京都 2-1 岐阜	2019/07/27 J2 - 24節@レベスタ福岡 1-1 水戸

●真夏の3連戦を戦うFC岐阜。その第2戦、7/31(水)第25節・ホーム大宮戦は、中3日でナイトゲームとはいえ30℃を超える蒸し暑い中でのタフな試合展開となった。前半は大宮にボールを支配されて攻撃されるが、我慢強く守る岐阜。後半になると岐阜がカウンターで何度も大宮のゴールに迫るが、フィニッシュの精度を欠いて得点はできない。結局、スコアレスドローで勝ち点1を得た岐阜。上位の大宮を相手に、第4節・鹿児島戦以来となる無失点試合となった。そして再び中3日で迎えた8/4(日)第26節・アウェイ長崎戦。試合開始直後に失点した岐阜だったが、徐々に流れを掴んで攻勢に。そして前半終了直前に#5川西翔太のゴールで同点に追いつくと、後半は2ゴールで逆転そして2点差に突き放す岐阜。試合終盤は長崎に攻勢を許すが、しっかりと守りきって3-1での快勝。上~中位チームを対戦相手にした真夏の3連戦を、1勝1分1敗とまずまずの戦績で終わることが出来た。

この2試合で1勝1分、貴重な勝ち点4を積み上げたFC岐阜。他の下位チームも勝ち点を積み上げたため、現在も順位は22位(暫定)のままだが、20位(暫定)・鹿児島との差が勝ち点3までに縮まり、勝ち点差6に18位(暫定)・町田が、勝ち点差9以内には16位・愛媛までが射程圏内に入ってきている。そして、直近5試合の戦績でいえば、FC岐阜は2勝2分1敗と好調で、リーグ後半戦・北野監督体制になって、追い上げ体勢に入っていると言っても過言ではないだろう。ただし、自分たちが現在もお最下位であることを忘れてはいけない。楽観視せず、ひとつひとつの試合を最後まで全力で戦い抜き、勝ち点を、そして勝利を積み上げていくことで、結果を出してゆけしかたない。また、現在のJリーグは第2ウインドー(登録期間)だ。近年は各チームとも夏の移籍でも活発に戦力補強をする傾向があるが、これまでのところ、岐阜からも#9山岸祐也(山形)、#14風間宏矢(琉球)、#18石川大地(沼津)が、チームを去ることとなった。寂しいことではあるが、各選手の決断を応援し、新天地での(岐阜戦以外での)活躍を祈りたい。一方、怪我による長期離脱者も多いため、戦力不足が不安材料となる岐阜。ウインドーは8/16(金)に閉まるが、更なる戦力補強に向けたフロントの奮闘に期待したい。さて、今節の対戦相手は、アビスパ福岡だ。昨季は最終節でFC岐阜と対戦し、引き分けて最終順位は7位、プレーオフ進出を逃した。今季は新たにファビオ・ペッキア監督体制で迎えたが、成績が低迷する中、6月にペッキア監督が退任。久藤清一コーチが新監督に就任して、チームの立て直しをしている最中だ。現在は19位、つまり今節は下位直接対決の“6ポイントマッチ”となる。

これまでの両チームの通算対戦成績は、岐阜の4勝4分13敗・18得点30失点。ホーム戦でも0勝2分8敗・4得点19失点と、福岡が圧倒的に優位な成績だ。しかし、約1か月前の7/6(土)第21節、前回の対戦では岐阜が3-1で8試合ぶり・北野監督体制での初勝利を挙げた試合の記憶はまだ新しい。今節も前対戦の再現で快勝したいところだが、福岡も選手を補強し、また怪我人も復帰してきており、上位の水戸にはドロー、山形には勝利し、直近5試合では2勝1分2敗と調子を上げてきている。岐阜がそうであるように、福岡も別のチームになっていると考えて試合に臨んだ方がいいだろう。福岡で警戒すべき選手には、まずは9得点の#9ヤン・ドンヒョンを挙げる。そして、この長身韓国人FWにボールを供給する#8鈴木惇にも注意が必要だ。一方の岐阜では、やはり前回の対戦でゴールを挙げた#5川西翔太や#11前田遼一が、ホーム戦でも素晴らしいゴールを我々に見せてくれることを期待したい。

台風の影響も心配される中、猛暑が続く岐阜。J2残留に向けた厳しく激しい戦いも、熱さを増すばかりだ。そして何より、僕らはホームスタジアムで3か月以上、勝利を手にしていない。今節こそ、僕らの拍手と声援で、最後まで走り続ける選手たちの背中を押し、ホームスタジアムでの勝利を掴み取ろう。心は熱く、頭はクールに保ちながら、“日本で最も熱い”スタジアムをつくろう。(ささたく)

**投稿募集 !!** [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第25節】岐阜 0-0 大宮

●今季は唯一となる、平日ホーム戦。しかしまあ、夏休み期間だから中3日での3連戦という日程になってるのは分かるんだけど、この猛暑で中3日というのは選手は相当に消耗するだろうなあ…最高気温は37℃超え、僕らも試合前からバテてるんですが(溜息)。それにしても、(人のことは言えないのですが)夏休み期間とはいえ、平日ナイターに5,303人も観客が集まるなんて…みんな好きだねえ(笑)。

さて、スタメンには#29 ジュニオール・バホス、#38 塚川孝輝そして#39 馬場賢治と、夏の補強選手3人がそろい踏み。そして、中3日の連戦によるコンディションと暑さの影響からか、両チームとも相手の出方をうかがうような慎重な立ち上がりだったけれど、徐々に大宮のペースに。まあ上位の大宮相手に今のウチが採る戦術は、当然ながら守備ブロックを固めてボールを奪ってからの素早いカウンター攻撃だろうから、想定内ではあるんですが、それでも大宮にボールを支配され続けると不安になってくるし、ヒヤリとするプレーや時間帯が続く。何とか無失点で前半終了…全然大宮のエリアでプレーしてないよなあと思ってたら、大宮のシュート10本に対して、岐阜は1本だったのね(苦笑)。

これは後半もヤバいかな…と気を引き締めて臨んだら、ハーフタイムでの修正が上手くいったのか、後半は岐阜の攻撃が機能するようになる。というか、大宮にボールを持たれながらも、フィニッシュに至るシーンは、岐阜の方が良かったような?もちろん、暑さで少しフラフラになってましたので、脳内補正が入っていることは認めます(苦笑)。だけど、#10 ライザのバーを叩いたシュートとか、コースが空いたところに走り込んで撃った#22 柳澤亘とか、#39 馬場のヘッドとか、スタジアム全体がうめき声を上げて天を仰いだシーンが何度あったことか(笑)。あの中のひとつでも、入ってくれたら…確かにゴール裏は壊れていたと思います(笑)が、あの辺りの最後の精度を、今後も練習して高めて欲しいものです。大宮の動きが悪かったような気もするけれど、スコアレスドロー。特に後半の出来からすれば、勝ち点3が欲しい内容ではあったけれど、それでも貴重な勝ち点1を得ることができた。首位・京都には負けただけれど、5位・大宮には勝ち点1。もちろん、サッカーはそんな単純なものじゃないとは分かってはいるけれど、これは、もしかして…そんな希望が、少し広がる試合結果だった。(ささたく)

●結果は0-0の引き分け。しかも、3ヶ月ぶりかな?久しぶりの、無失点試合。それでも、終了直後はものすごく複雑な気分。素直には喜ばなかった。なんとか切り抜けた前半とは全く様相が一変した後半。完全に、と言いたくなるほど、ゲームを掌握したかのような展開。アチラが勝手に止まってくれたのを良いことにやりたい放題だったウチ。惜しいシュートが何本あったか。ライザのバー直撃を含めて4本かな?5本かな?けど、やっぱり枠内じゃなきゃね。枠内に入れなきゃ何ともならない。この展開なら勝たないと。こういう試合で勝ち点1じゃもったいない。手に入らなかった勝ち点2が最終的にどう響いてくるか?返す返すも残念だ。悔しさは募る一方だ。しかし、だ。こういう試合をモノにできるんならこの順位にはいない(苦笑)。要は、この勝ち点をどう活かすかだ。とはいえ、なんののかんの言っても、前半を無失点で切り抜けたのがデカイ。シモビッチ、怖かったよ、シモビッチ。思わず目を覆いそうになった場面は……、2回かな?ホント、交代してくれてよかった。しかし、出てくるのがファンマとか。ザケンナ!と言いつつになったが、なぜだか彼が全くの不調。おまけに、彼に合わせたかのように大宮全員の足が止まったように見えた。岐阜の暑さがこたえたのかな?でも、昼間はともかく、日が沈んでからは過ごしやすいコンディションになったと思うけど。客席とピッチでは違うのかもしれない。それにしても、平日の試合に5千人超え。最下位という現状の中で、よくぞ……と思う。引き分けにはしたくなかった展

開だけど、この試合を長良川で、あるいはリアルタイムで見てた方々には『手に汗握る』魅力的な試合だったんじゃないのかな?次節以降もこういう試合をして、それを勝ち点3に結びつけていってほしい。そうしなければ、現状は突破できない。この試合の勝ち点1を活かすためにも次節は必ず勝利を。長崎でも精一杯の後押しをしてきます!(ぐん)

●ものすごく暑い長良川に職場から直行でスーツ・ネクタイ姿で行った(注:ウチの職場もクール・ビズはやってます)ので「世を忍ぶ仮の姿だ」って3回言われた(笑)。そんな、今季の長良川で唯一の平日ナイター……にしては、入ったねえびっくりだよ。ホントに、何度も書くけどクラブの営業スタッフはがんばってます。スコアレスドローの結果は、そんなお客さんを満足させられた……だろうか?ぼくは「満足させられた」と思う。だって、ぼくが満足したから(笑)。そりゃ「勝てるかも?」とか「勝てるかも!」とか思ったさ。でも、ぼくが満足したのは試合結果とはあまり関係なくて。

大木・岐阜の時にはなくて、北野・岐阜の初勝利だったアウェー福岡戦の時にもまだなくて、いまの岐阜にあるもの。それは『たくましさ』だ。戦う集団が纏(まと)うのに相応しい、たくましさだ。北野監督は、大木さんが用意していたOSを短時間で書き換えるだけでなく、その上で動くソフトウェア(アプリ)まで書き換えてしまったようだ。すごいねえ、びっくりだよ。(吉田铸造)

## 【第26節】長崎 1-3 岐阜

●夏休み期間とはいえ、日曜ナイターを諫早の地・トラスタでやられたら、当日中に帰るの絶対に無理じゃないですか(泣)。仕事の都合で月曜に休みも取れず、泣く泣くDAZN観戦に。で、試合開始すぐにいきなり失点ですか(溜息)。つか、長崎の#33 呉屋大翔にやられ過ぎなのでは…前日も2点を献上したし、これで3点目ですよ。北野監督になっても、試合の立ち上がりにピンチを迎える試合がまだ続いているように感じます。マークや守備ブロックを修正する前に決定機を与えてしまっているのかな?この点は反省して、立ち上がりからしっかりと守備を構築してほしいものです。

……でも、ここから修正が上手くいったのか、岐阜の守備が機能しはじめる。#29 バホスも2試合目でチームに馴染んできたのか、何度も決定機をつくるけれど、決めきることはできない。大宮戦が脳裏をよぎり、今日も岐阜のゴールは生まれえないのか…と不安になりかけた前半終了直前、#5 川西翔太がDFの裏へ抜けると#38 塚川孝輝からのスルーパスをGKの目の前で触って、テクニカルな同点ゴール!実にいい時間帯に同点に追いついた岐阜。後半の立ち上がりは要注意…かと思ったのだけれど、前半に掴んだ流れを放さない岐阜。敵陣で#31 宮本航汰がボールを奪うと、#5 川西が今度はボックス手前でミドルを撃ち、豪快な無回転シュートがネットに突き刺さって逆転ゴール!うん、福岡戦の1点目ミドルもあの位置からだったし、「川西ゾーン」と呼ぶことにしよう(笑)。逆転したけれど、まだ1点差。ここで油断する訳にはいかない……と思っていたら、#39 馬場がボールを受けて潰れて空いたシュートコースを#10 ライザが正確に撃ち抜いて3点目!さすがに僕も叫びました(笑)。そして、心が折られたような表情の長崎の選手たちが……(苦笑)。

とはいえ、中3日での3連戦の3戦目、さすがにこの後は岐阜の選手たちも動きが悪くなり、長崎に攻められてシュートも撃たれる展開に。だけど、我慢して守備ブロックを作り、相手の隙を見てはボールを狙う岐阜の選手たち。相手のミスにも助けられた感があったものの、3-1で試合終了。アウェイで逆転勝利、貴重な勝ち点3。

あー悔しい!!無理して月曜休みをとって現地に行けば良かった!!しかも、試合終了後にどうやら長崎のサポがブーイングしたようで……これって、勝った時のアウェイ側サポ

にとっては甘露なのよ（苦笑）。現地組の皆さん、本当にお疲れ様でした。

あー悔しい。今節はホームで、しっかりと目の前で岐阜の勝利を掴み取ってやるんだ。そのために今節も最後まで応援します！（ささたく）

●初めて長崎へ行ったのは昭和の終わり頃。そう、ちょうど、この時季のことだった。羽田から出発したんだが、そういえば飛行機に乗ったのもあれが初めてだったな。初めて訪れた長崎の印象。それは「ちっとも夜にならない……」だった。その他のことも覚えていないワケじゃないが、どうしてもその印象だけは忘れることがない。7時を過ぎてても薄暮以上。東京より、岐阜より30分以上も夕方が続く。後年、フランスでのW杯の際にフランスでのデンマーク vs クロアチア戦を観戦したが、その時に「長崎よりも夕方が長い！」とビックリしたことを覚えている。それくらいに、初めての長崎の印象が鮮明なんだろう。今回のトラスタでも、初めての時と同じように夜の帳はスローモーションで降りてきた。しかし、帳が降りて劇が開幕するとは、これ如何に？だ（笑）。実に鮮やかな逆転劇。いや、ホントに強い勝ち方だった。何はともあれ、やりました！待望の勝利。アウェイでの勝ち点3。九州でこんなに勝つのはいつ以来だろう？トラスタでの勝利も久しぶりです。毎度毎度、日曜のナイトゲームを組みやがる長崎の奴隷どもに鉄槌を下してやることができました（笑）いえ、どうも、アウェイの長崎戦は『真夏の日曜ナイトゲーム』ってイメージがあるんですね。お門違いの八つ当たりでしょうか？

しかし、キックオフ直後の実にアッサリとした失点。レベスタでのライザ→前田神のゴールを思い出しましたよ（苦笑）だけど、今のうちには川西サマがいる。塚川のスルーも超クール。追加点もバホス、ババケンが絡んだゴール。イイ選手を補強したなあ。フロント、グッジョブ！もちろん、勝ち越し弾の起点となった航汰のフォアチェックも素晴らしい。そして、アノ位置でフリーにさせたら確実に決める、少なくとも枠には入れるね、川西サマは。それにしても、前田神に加え、この川西がいて、なんでこの順位なんだろうな？練習試合でのケガなどでコンディションが整わなかったとも聞いているけど、今季の開幕を8月からにしてもらえませんか？

勝利の余韻に浸る間もなく、ダンマクをかたづけて、とんぼ返りのハイウェイ。ただ、ひたすらに東へ走る真っ暗な車内で頬張るコンビニのおにぎりが、こんなにも美味しいモノだとは知らなかった。この勢いを長良川に持ち込みたい。次節こそ、ホームでの勝利を！長良川でのバンザイ四唱を！共に戦いましょう！！（ぐん、）

## 8/9 時点の J 3 順位表。

1	藤枝	37p	+10	27	17	残り 15	
2	熊本	34p	+5	28	23	残り 15	★2019 ライセンス
-----							
3	群馬	32p	+16	36	20	残り 15	★2019 ライセンス
4	北九州	31p	+7	24	17	残り 15	★2019 ライセンス
5	鳥取	31p	0	32	32	残り 15	★2019 ライセンス
6	C 阪 U	30p	-2	31	33	残り 15	

クラブライセンスにおけるスタジアムの条件が緩和され、藤枝も J 2 ライセンス申請が可能になった……という情報がネットにありました。ライセンス審査はスタジアムの他にも経営状況などにもあるので藤枝に J 2 ライセンスが降りるかは9月末次第ですが、その結果次第ではこの順位表があまり意味を持たなくなるかもしれません。

『岐大通』では F C 岐阜の J 2 残留が決まるまで、J 3 情報を掲載していきます。（編集人：吉田铸造）

